

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 4年 12月 20日

事業所名 てらびおげっと 南柏教室

保護者等数(児童数) 29 回収数 25 割合 86 %

	チェック項目	評価				合計数	ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない			
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	24	1	0	0	25	・以前より、工夫されて広くなったように感じる	・ありがとうございます。今後も状況に応じて、環境設定に努めていきます
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	22	0	0	3	25	・新任の方や何の資格を持っているかわからない方もいる ・まだ通い始めて不明	・新しいスタッフが入社した際は、ホームページにて紹介しておりますのでご覧ください
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	20	2	0	3	25	・本人にしかわからないが、ドアの前に絵くまさん等)が貼ってあるのはいいと思う	・ありがとうございます。今後もお子さまにとって過ごしやすい環境や股化を意識した環境作りを行っています
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	24	1	0	0	25	・送迎の際にいつも消毒されていて安心する	・クール毎に、玩具の消毒をさせていただいております。今後も消毒や心地よく過ごせるようにしていきたいと思えます
適切な支援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	24	1	0	0	25	・希望通りに定期的に作成してもらっている	・今後もご希望がございましたらお伝え下さい
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	23	0	0	2	25	・支援計画は項目ごとに具体的に考えて作成してもらっていると思う	・今後も、児童発達支援ガイドラインに基づき作成させていただきます
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	23	1	0	1	25	・計画通りにセラピーしてもらっている	・発達支援計画に沿った支援に努めていきます
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	18	4	0	3	25	・成長や発達度合いに合わせて活動していると感じる	・お子様の現状を保護者様と共有しながらプログラムを進めさせていただきます
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	8	2	8	7	25	・コロナ禍なので ・園の登園も開始したので、そう思う	・セラピーの時間帯・内容として、交流することが難しい為、現在行いう予定はございません
保護者への説明等	10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	25	0	0	0	25	・契約時に時間をかけて説明された	・今後も、契約時にご説明させていただきます
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のわらひ及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	24	0	0	1	25	・半年毎に支援計画とともに説明してくれている	・保護者様にわかりやすい説明が出来るよう、努めてまいります
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	13	4	5	3	25	・せらびーの一とにはそのような記載があるが、使用したことはない	・家庭支援につきましては、お子様のセラピーの内容にて行うことが出来るものと出来ないものがございます。ご希望がございましたら、スタッフに直接お声がけ下さい
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができていますか	24	1	0	0	25	・フィードバック時に丁寧に教えて頂く ・の一との内容はたまに具体的にしてい	・限られた時間ですが、なるべくお子様の様子が伝わりやすいように努めていきます ・の一との内容につきましても、具体的に記入するよう共有致しました
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	17	3	2	3	25	・面談をしたくてもバタバタしていてタイミングが難しいため、フィードバックで話してしまうこともある	・ご希望がございましたら、事業所内相談支援やLINEなどをご活用頂ければと思います
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	3	1	10	11	25	・保護者同士の連携は特になくはないと思う	・時間帯や保護者様のご負担を考慮し、現在は行う予定はございません
	16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	20	2	0	3	25	・フィードバックが以前よりも簡素的になったため、相談はしづらくなった	・ご不便をおかけしております ・お子さまのセラピー内容の充実を目的に、フィードバックの時間が以前よりも短くなってありますが、事業所内相談支援やLINEなどをご活用頂き、お気軽にお声がけください
	17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	23	0	2	0	25	・フィードバック時、玄関はせまいが、マットを用意してくれているのでソーシャルディスタンスは保てる	・他のお子様のお話が聞こえないよう、一定の距離を保たせていただいております
	18 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	11	2	1	11	25	・ホームページや活動内容を更新していただいていると思うが、自身が確認できていない ・ホームページの更新があればラインで通知があるとありがたいです	・ブログは週に1回をめやすに更新しております ・ブログの更新のお知らせにつきましては、社内にて検討させていただきます ・貴重なご意見ありがとうございます
19 個人情報の取扱いに十分注意されているか	24	0	0	1	25	・大体は取扱い注意してもらっているが、たまに名前が丸みえなのが気になる時がある	・貴重なご意見ありがとうございます ・今後はそのようなことがないよう、個人情報の管理を徹底してまいります	

非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	18	1	0	6	25	<ul style="list-style-type: none"> ・手紙を配布して周知はされているが、実際発生したら混乱してしまいそう ・子供の成長に合わせて実施して頂ければと思います 	<ul style="list-style-type: none"> ・年に2回スタッフによる避難訓練を実施しております ・お子さまの避難訓練につきましては、お子様の特性への配慮なども考慮し、現在は行っておりません
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	12	0	1	12	25	<ul style="list-style-type: none"> ・備えてはあると思うが訓練をしているかはわからない 	<ul style="list-style-type: none"> ・備蓄便3日分を蓄えており、年に2回、避難訓練をスタッフのみで実施しております
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	20	3	1	1	25	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日行きたい！と言うほど通所を楽しみにしています。 ・セラピー中や帰りは楽しそうにしているが、行くまでが眠いのか、いつもグズってしまい、大変 	<ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございます。 ・お子さまの「行きたい」というお声や教室に来ていただいた時の笑顔が、私共の一番の喜びです。今後も、お子様が楽しくお帰りがいただけるような支援を行うよう努めてまいります
	23	事業所の支援に満足しているか	24	1	0	0	25	<ul style="list-style-type: none"> ・どの先生も皆温かく、親子共々心の拠り所となっているように思います。 ・連れていくまでが大変なので、そこまでして行くべきなのかと思う時もあるが、確実に成長はしているので、支援はためになっていると感じる 	<ul style="list-style-type: none"> ・ありがとうございます。今後もご満足いただける支援を行えるよう努めてまいります。気になることがございましたら、お気軽にお声がけ下さい。

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4年 12月 20日

事業所名 てらびあぼけっと 南柏教室

		チェック項目	はい	いいえ	未回答	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	0	0		
	2	職員の配置数は適切であるか	5	0	0		
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	4	1	0	・トイレに行く際に段差がある ・足台はあるが、小さいお子さんは難しい為、特定の手を繋ぐなどの支援をしている ・特定の部屋での日当たりがよく、空調が届きにくい為、扉を開けたり、扇風機を使用し、温度調節をしている	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	4	1	0	・トイレが大人用のみなので、補助便座やおまるの活用を行っている ・足が届かず、不安定になるので、セラピストがしっかりと見守っていく ・必要に応じておまるを使用していく	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5	0	0	・ご利用者様の情報共有をその都度行っている	・来年度より、評価制度を実施し、個人の目標設定と振り返りを行う予定
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	0	0		
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	1	0		
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	1	0		
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	0	0		
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5	0	0		
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	1	1	・オリジナルのアセスメントツールを用いて状況把握をしている	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5	0	0	・利用者様の現在の状況を知り、現在のご利用者様のにあった支援の内容を設定している ・支援の内容を設定後、支援内容が適切かどうか職員で共有しながら見直しをしている	・支援の内容を設定後、支援内容が適切かどうか職員で共有しながら見直しをしている
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	4	1	0	・自分の担当でなくても、定期的に確認したり立案している ・支援計画に目を通し、その都度見直している	・担当制の為、担当したスタッフによって、支援計画から外れてしまうことがあるので、定期的にミーティングにて見直しをしたり、児童発達支援管理責任者による確認を行う
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	1	0	・自分の担当でなくても、定期的に確認したり立案している ・職員同士、情報を共有しながら立案している	・担当だけの考えでセラピーの内容を決めないよう、定期的に見直す機会を作っている(今後も作っていく)
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	1	0	・ミーティングにて定期的に話し合うようにしている ・自分の担当でなくても、定期的に確認したり立案している ・なかなか達成されない課題の時はお子様にとって適切なものかどうか見直している	・週に来る回数が多いお子様は固定化されてしまうことがあるので、情報共有を行いながらその日のお子様の様子なども含め、今後とも共有し固定化しないようにしていく
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	5	0	0	・職員一人ひとりがそれぞれの状況においてのお子様の気がついたことを書き出し、共有している	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	0	0		
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	0	0		
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	0	0		
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5	0	0			
21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	0	0			
22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	4	1	0			
23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	0	0	5	対象外		

関係機関や保護者との連携	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	0	0	5	対象外	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	3	1	1	まだ実施していない	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	2	2	1	開所した年度なので、就学したお子様がいない為、対象外	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	2	0		
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	1	3	1	コロナ禍なので難しい 教室の仕組み上、難しい	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども子育て会議等へ積極的に参加している	1	3	1		
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	0	0		
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	1	3	1		
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	0	0		
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	5	0	0		
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	0	0		
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	4	1		
非常時等の対応	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	5	0	0		
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3	2	0	*週1回ブログで教室の様子を伝えている	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	5	0	0		
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	0	0		
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	4	1	行事を行っていない	
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	5	0	0		
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	0	0		
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	5	0	0		
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	0	0	該当なし	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	0	0	*気付いた時はすぐに伝えるようにしている	*教室としてヒヤリハットへの意識が低い時があるため、管理者が声をかけたり、お子様の様子の共有時に指摘している
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4	0	0		
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	5	0	0	該当なし	